

| | | | | | | |
|-------|-----|-----------------|-----|-------------------|-------|-------|
| 施策No. | 政策名 | 生きがいを育む学びのまちづくり | 主管課 | スポーツ振興課 | 主管課長名 | 戸嶋 忠行 |
| 2-4 | 施策名 | 生涯スポーツ活動の振興 | 関係課 | 健康推進課、学校教育課、生涯学習課 | | |

1. 施策の目的と成果把握

| 目的 | 施策の対象 | 対象指標名 | 単位 | 区分 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | |
|-------------------------|--|------------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 市民 | ①桜川市人口 | 見込値 | 人 | | 37,653 | 37,269 | 36,885 | 36,500 | 35,897 |
| 実績値 | | | | | | 37,653 | | | | |
| 見込値 | | | | | | | | | | |
| | | | | 実績値 | | | | | | |
| 施策の意図 | | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 | |
| スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている。 | | ①週1回以上スポーツを行っている市民の割合 | % | | 目標値 | 42.0 | 44.0 | 46.0 | 48.0 | 50.0 |
| | | | | | 実績値 | 40.8 | | | | |
| | | ②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合 | % | | 目標値 | 66.0 | 67.0 | 68.0 | 69.0 | 70.0 |
| | | | | | 実績値 | 55.2 | | | | |
| | | ③市のスポーツ施設利用者延べ人数 | 人 | | 目標値 | 278,000.0 | 280,000.0 | 282,000.0 | 284,000.0 | 286,000.0 |
| | 実績値 | | | | 192,616.0 | | | | | |
| | ④スポーツ少年団登録指導者数 | 人 | | 目標値 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | |
| | | | | 実績値 | 80 | | | | | |
| 成果指標設定の考え方 | ○スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来ているかは、アンケートにより、①「週1回以上スポーツを行っている市民の割合」(実施率)と、②スポーツを日常的に行っている市民の中で、「スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている」と答えた市民の割合」において把握する。 | | | | | | | | | |
| 成果指標の把握方法及算定式等 | ○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①週1回以上スポーツを行っている市民の割合、②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合は、市民アンケートより求める。③市のスポーツ施設利用者延べ人数は、市内体育施設及び小学校体育施設使用許可申請書より求める。④スポーツ少年団登録指導者数は、スポーツ少年団の指導者登録人数より求める。 | | | | | | | | | |

2. 施策の成果水準とその背景・要因

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?) | | | |
| 実績比較 | <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した | <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した | <input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態) |
| | <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した | <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した | |
| 背景・要因 | ○スポーツ実施率(週1回以上スポーツを行っている市民の割合)は令和3年度41.5%と比較すると0.7ポイント減少した。昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により外に出る機会が減少したことが原因として考えられる。また、スポーツをしている人の中で、スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている市民は、令和3年度58.8%と比較すると3.6ポイント減少している。やはり新型コロナウイルス感染症の影響が出ているものと考えられる。 | | |
| | ○スポーツ施設の延べ利用者数は、令和2年度146,311人、令和3年度122,641人と減少し、令和4年度実績では192,616人と増加している。その要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により施設を閉鎖していた期間から徐々に市民が日常を取り戻しつつあることが考えられる。 ○スポーツ少年団指導者数は令和3年度34人から令和4年度80人と増加した。これは、制度改正前の指導者資格から制度改正後の指導者資格への移行手続きが進んだことや、新型コロナウイルス感染症のため中止が相次いでいた新たに指導者資格を取得するものを対象とした講習会の再開が要因と見られる。 | | |
| 2) 成果目標の達成状況 | | | |
| 実績比較 | <input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った | <input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった |
| | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った | <input checked="" type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った | |
| 背景・要因 | ○週1回以上のスポーツ実施率の目標値42.0%に対して40.8%と1.2ポイント下回っている。 ○スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合については、目標値66.0%に対して55.2%と10.8ポイント下回っている。 ○市のスポーツ施設利用者延べ人数は、目標値278,000人に対して192,616人と85,384人下回っている。 ○スポーツ少年団登録指導者数は、目標値86人に対して80人と6人下回っている。 | | |

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

| | |
|--|--|
| <p>令和4年度、貢献した事務事業は「総合運動公園管理運営事業」であった。「総合運動公園管理運営事業」は、安心してスポーツを実践できるように、ラスカアリーナ照明LED化工事、テニスコート改修工事を実施し、スポーツを楽しむ機会と体力づくりの提供を図った。また、ラスカトイレ洋式化改修及び手洗い自動水栓化工事を実施しラスカを利用する方すべてに向けての環境向上を図った。</p> | <p>今後の課題・方針</p> <p>今後は、普及スポーツに取り組んでいない人なども対象に、健康維持や生活習慣病及び介護予防も視野に入れながら、関係各課と連携を図り、身近に出来るウォーキングや散歩などの普及・啓発や健康体操教室の開催等を行っていく。 安全で快適にスポーツ施設が利用できるよう、老朽施設の修繕・改修を行うことにより、施設の充実に努める。 総合型地域スポーツクラブ「桜川スマイルクラブ」が平成22年10月に設立し、平成28年9月にはNPO法人化した。スポーツ実施率を向上させるには、関係団体の連携の強化が必要である。 今年度、新型コロナの感染拡大により中止していたマラソン大会を実施予定。実行委員会を開催し円滑な大会運営を行う。</p> |
|--|--|